

伊東市新図書館 費用便益分析に係るアンケート結果

1 回答数について	○別紙『伊東市新図書館 費用便益分析に係るアンケート回答数集計』のとおり 合計 1,192 件の回答をいただきました。 【LogoForm:1,005 件、紙ベース:187 件】
2 年間支払意思額 (WTP)について	○年間支払意思額(WTP)については、 WTP=10,497 円 という結果になりました。 ※回答として、『F:負担したくない・反対・わからない』を選択された方のうち、自由記載欄の内容が本アンケートの趣旨に合致していない回答については<u>拒否回答とみなし</u>、WTP を算出しています。 ※なお、『F:負担したくない・反対・わからない』を選択した回答全てを“0円”とみなした場合については、 WTP= 9,310 円 という結果になりました。
3 費用便益分析の結果について	○CVM(仮想的市場評価法)により、50年間の事業費の総計(C:Cost)と、1人当たりの年間支払意思額(WTP)を便益に換算したものの50年間の総計(B:Benefit)を比較しますと、 B/C= 1.4570となり、“1以上”という結果になりました。 ○仮に、拒否回答を除かず、1,192 件の全回答からWTPを算出した場合であっても、 B/C= 1.2922となり、“1以上”という結果になりました。 ※B/C(費用便益比)とは…事業に要した費用の総計(Cost)に対する事業から発生した便益の総計(Benefit)の比率であり、B/C の値が“1以上”であれば、その事業は妥当なものと評価されます。 ※新図書館建設事業に国費(都市構造再編集集中支援事業費補助金)を活用するに当たっては、上記 B/C は1以上である必要があり、本アンケートにて算出した B/C(費用便益比)を、都市再生整備計画に記載をさせていただきます。